

NPO法人奥矢作森林塾 今後の方針

地域と都市の
架け橋になる

地域と都市を結ぶ架け橋となり、古民家リフォーム塾や施設利用、イベント開催により、更なる移住者、及び交流人口の拡大を進め、空き家ゼロを目指す。

森林再生と
担い手づくり

荒廃森林の解消と森林資源の有効活用を継続するとともに、高度な技術を要する担い手を確保・育成していく。

地域課題の解決に
貢献し続ける組織へ

人口減少や森林の荒廃など、地域の諸課題解決を担える組織として活動を継続し、レベルアップを図り続ける。

ー 3. 串原中学校の森の健康診断

森の健康診断の会場として串原小中学校をお借りすることから、直前の5月24日に学校を訪ねた。会場借用の打ち合わせはすぐ終わり、串原中学校の森林学習の話に進んだ。中学校では昨年「活気ある串原」にするために「活木（かつき）プロジェクト」と名付けて、生徒たちが間伐材などを地元林業者の指導のもとで一緒にキャンプ場の薪などに加工して販売して学用品の購入などに役立てている活動がある。今回の森の健康診断の手法を用いながら森づくりの大切さと同時にプロ林業者の凄さやカッコよさを伝えたい、ということになった。

生徒たちにとって2000年9月の恵南（東海）豪雨被害は自分が産まれるはるか前の出来事。矢作ダムが4万立米の流木に湖面を覆いつくされたことはもう昔話ですらないのかもしれない。そこ

で、座学ではまず防災観点で2000年9月の出来事を振り返る。次に森の役割や豪雨時の土砂崩落のメカニズム、森林と林業・山村地域を取り巻く状況について学んでもらう。現場では中学生向けにアレンジされた森の健康診断的手法で科学的に調査し、そのデータで導き出された結果を尊重して自ら森をデザインし、生徒たちが100平米の円形プロット内を選木する。それをプロ森林技能者がチェーンソーで伐倒し、その間伐作業を同じくベテラン技能者である小林太朗さんが絶対安全な位置から模型も使いながら作業の流れや意味を解説する。適正本数伐倒後に切り株元に集まり空を見上げ空開きを体感し、感想を述べあう。・・・というプログラムを小林さんと丹羽で組み立てて実施した。彼らは何を感じ、このことが彼らと串原の森のミライにつながる一歩になったのだろうか。

「活木プロジェクト」

このプロジェクトは、串原の自然環境に関心を持つきっかけにしよう、地元の林業従事者の協力のもと昨年「活木（かつき）プロジェクト」として行っています。昨年は当時の3年生が割った薪を、地元のキャンプ場で販売したところ好評だったことから、今年は生徒会が中心となり、全校で取り組んでいます。参加した生徒たちは、初めてとは思えないほど手際よく薪割りをし、たくさん薪を作ることができました。

生徒会長の三宅みりさんは「皆が真剣に取り組んでくれた良かった。これは、昨年の3年生が活気ある串原にするために始めたプロジェクトで、自分たちで森をきれいにしていくことを目的にしています。」と話しました。



森の健康診断

令和4年11月9日 串原中学校森林学習研修



②



①



③

事前学習（30分間）⇒串原の森へ
①丹羽さんから講話「くしはらの森を知る、学ぶ、つくる」
…患南豪雨災害と近隣で発生した災害について
②日本の森林と串原
…森の健康診断で何が分かる、何を調べる
③今後、「串原の森」をどうするか…何が出来るだろう？
④実際に「串原の森」に出かけ、森を知ろう！
⑤山林所有者の方、講師の皆さんと顔合わせ
⑥「森の準備体操」で心身ともに整える



⑥



⑤



④



⑦



⑧



⑨

森の健康診断（120分間）その1

- ⑦不健全な森に入る
- ⑧⑨森の現状（林の込み具合・人工林の種類）を知る
- ⑩調査の役割分担をする
- ⑩⑪中心木を決め、半径5.65mの円を描く
- ⑫一人一役、全員で調査する。



⑫



⑪



⑩



森の健康診断（120分間） その2

- ⑬⑭範囲内にある木の太さを調べる ⑮⑯調べた木に太さを記入し、記録する
- ⑰高い場所から、斜面の向きと傾斜角、基準となる木の高さを調べる
- ⑱調べた内容を交流し、林分形状比を求め、伐採する木の本数を決める。
- ⑲⑳ブロの技を目と耳で感じる（林業従事者）がチェーンソーで伐採する様子を講師の付きで、安全な場所から見る
- ㉑㉒木の断面（年輪）を数え樹齢を知る
- ㉓調査のまとめ…この森は元気でしたか？元気な森にするのはどうしたらいいか考えよう



森の健康診断 🌿 振り返り
学んだこと、思ったこと、気づいたこと、覚えたこと、発見したことなど

西暦1000年の医学では、大きな木の生えている下は、小さな木や葉、雑草がなく、落ちてきた水浸が地面に落ちるなどの土砂崩れが起こる原因などが知られました。また、木は根えただけで終わりでなく、間引きが大切です。また、実際に林に行き、密度を測った時にほとんど木を切った方がいいかなどがわかりました。

森の健康診断 🌿 振り返り
学んだこと、思ったこと、気づいたこと、覚えたこと、発見したことなど

木の間伐では、数学の知識が必要だと分かりました。又、ブロの方がチェーンソーで木を切るときに、あつという音がしたので凄いなと思いました。そして、事前授業のときに日本の国土のほとんどが森林がけど、人工林は、手入れが半分の所が沢山あると知って責任を持ってしっかりと手入れしていくことが大切だと学びました。実際に、森の中へ行って、警戒できないような事を協力しながらやる事が出来たので良かったです。